



2022年4月22日
中部電力パワーグリッド株式会社

2022年度 引込線および内線工事請負契約の工量単価について

記

日頃は、弊社事業に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、電力事業にご理解いただき、日夜、安定供給のためにご尽力くださり、重ねてお礼申し上げます。

まず、弊社を含めた中部電力としての連結の収支見通しですが、燃料価格の高騰に伴う期ずれ差損の拡大に加え、ミライズにおける卸電力取引市場の価格高騰に伴う電源調達コストの増加などにより、2013年度以来8年ぶりの赤字となる見通しであります。また、パワーグリッド単体につきましても、第3四半期決算においては、需給調整にかかる費用の増加などから赤字となっており、年度見通しにおきましても約200億円の赤字が見込まれております。

さて、弊社は、激甚化する自然災害に備えレジリエンスの強化に努めるとともに、再生可能エネルギーの大量導入による電気の流れの複雑化など、地域ごとに進展する様々な変化に応じて適切に対応し、品質の高い電気を安価にお届けするという「変わらぬ使命の完遂」が求められています。引き続き、地域・社会の発展に貢献していくためにも、中部電気工事協力会連合会の皆さまのお力添えを是非ともお願いいたたく、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

一方、外部環境としましては、2023年度の新たな託送制度導入を控え、一般送配電事業者は、国が示した指針に沿って一定期間（規制期間）に達成すべき目標を明確にした事業目標を策定することとなり、託送料金に関する審査においても、外部識者による効率化に対する評価を他社比較されるなど、これまで以上に厳しくなっていくことが予想され、弊社および本契約を取り巻く環境は、一層厳しさが増すものと想定しております。

以上の現状および本契約を取り巻く状況を総合的に勘案するとともに、日頃の皆さまのご尽力にお応えすべく、2022年度の工量単価につきましては、以下のとおりとさせていただきます。

○2022年度工量単価

303. 0円/工量（2021年度単価比1.0%のアップ）

以上